

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃
副委員長：久間 進
委員：中田 恭一、榭原 伸
 小金丸益明、呼子 好

本委員会に付託された議案6件・認定1件を審査し全議案可決した。

総合整備計画の策定に係る辺地(変更)について

- ・消防小型ポンプは15年を更新時期とし、今回建替えの格納庫は築35年を経過している物であるが、今後格納庫の耐震調査をすべき。
- ・消防ポンプ検診は年1度であるが年数の経過したものは回数を増やせないか。

予算特別委員会

委員長：久間 進
副委員長：小金丸益明
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

平成24年度一般会計補正予算の審査を付託され、議長除く全議員で審査を行った。

総額3億1千474万7千円の補正額が提示された。

新規事業の「しま共通地域通貨」は、離島過疎市町村共通のプレミアム付きの共通商品券が来春4月に発行される国費事業。

また、認知症グループホームの施設整備に向けた助成など、ソフト事業への補正が主である。多種多様の関連質疑があるも、全会一致で可決した。

産業建設常任委員会

委員長：田原 輝男
副委員長：大久保洪昭
委員：牧永 護、瀬戸口和幸
 中村出征雄、深見 義輝
 町田 光浩

9月会議では、議案5件、決算認定4件、陳情1件の付託を受け、審査を行なった。採決の結果、全議案可決、認定、採択すべきものと決定した。

芦辺町瀬戸浦の市道、恵美須く大久保線の幅員拡張工事に関する陳情について、路線改良の必要性は認めるものの、厳しい財政状況の中、早急な対応と全線改良は困難と思われる。よって局部改良等に対応できないか調査検討するよう意見を付して採択とした。



陳情が提出された恵須美地区の道路状況

厚生常任委員会

委員長：町田 正一
副委員長：市山 和幸
委員：鵜瀬 和博、豊坂 敏文
 音嶋 正吾、久保田恒憲

付託された国保補正予算、及び介護保険補正予算については原案どおり可決とした。今後の運営が危機的状況にある国保・介護であるが、市も特定健診の受診率65%達成を目指しており、市民皆様のご協力をお願いしたい。

平成23年度病院事業会計の決算について、前年度は累積欠損金20億を超え、何ら改善計画が示されない事から不認定とした経緯があるが、本年度は

次の3条件を付して認定とした。

- ①企業団加入手続きをスピード感持って進める。
- ②かたばる病院との統合の円滑化。
- ③企業団加入条件の職務職階制等の8条件のクリア

平成23年度の後期高齢者医療事業と介護保険事業の決算認定は、更に慎重な審査が必要と考え継続審査とした。